

稲光会報

第33巻43号

平成22年3月1日発行
編集者 早稲田大学 稲光会
発行者 植竹清宏
題字 滝口

第3回稲光会ゴルフコンペ開催

11月18日東京カントリー倶楽部にて3年半ぶりに開催。8名が参加。当日は天候が悪く、富士山、初島等素晴らしい景色が見られなかった。もともとはプレーヤーはグリーンにてこずり、景色を眺める余裕もなかったようである。



現役の夏季合宿に8月開催の幹事会兼暑気払い会に出席された有志の差し入れを私が届けることになった。合宿所は群馬県上野村の「やまびこ荘」で、この主人は平成元年卒業の佐々木君と平成10年卒業の旧姓岡田さんが務めている。

フエンシング合宿への差し入れ

西澤民夫会員(S41年卒)

当日は雨でかつ濃霧。このため道を間違え、山の上まで行ってしまい、JALの墜落現場まで行くのではないかと思っていたら、なんとかお昼前に到着。無事に差し入れを渡すことができ、現役生一同と美味しい食事を食べた。

OBの近況報告



仲睦まじい鈴村一家
鈴村元宏会員(S63年卒)

平成21年は既報の出水宏和会員(H11年)に続いて本間邦彦(H12年)、野口信道(H14年)、渡辺崇宏(H17年)、古宮崇大(H17年)会員が結婚されました。誠にめでたくございます。

私の趣味

北原勝彦会員(S41年卒)

フライフィッシングは悪名高いブラックバスのルアー釣りと同じ、生の餌を使わない擬似餌釣りの一種で、十七世紀のイギリスで始まり、ヨーロッパの貴族や有閑階級の間を広まったスポーツフィッシングです。彼らにとって、自分の領地内の

金子誠顧問(S25年卒)が小唄の会でお披露目
金子顧問は踊り、長唄、小唄は大変な季節が入って筋金入りだが昨年11月8日(日)三越劇場に於いて小唄を披露した。名取り名はと喜裕師匠からいただいた「豊喜裕誠」と言い、ビシッと和服を決め、得意の曲目「わけもないこと」、「のびあがり」を披露し、駆けつけた会員(越

川での釣りは、乗馬、フエンシング、ハンティングなどと共に教養の一つとなっていました。フライとは主にカゲロウ、トビケラなどの水生昆虫や小魚を模した毛鉤で鳥の羽や獣毛などで基本的に自分で巻きます。古典的なパターンを含めて数百種あり、釣り場、釣り魚の種類、天候などで使い分け、その日のヒットフライを見つけるのが醍醐味です。私が四十年程所属するクラブ



は日本最古のフライのクラブで名人も多いのですが、他の釣り会同様高齢化が進んでいるのが悩みです。この釣りはフエンシング同様、反射神経、集中力などが必要で、早春の溪流でヤマメとの駆け引きなどは、極上の楽しみです。

「総長も祝福！」



白井総長

「やあおめでとーう。よくやったね」。総長が眼鏡の奥

で目を和ませ、フルーレ陣を暖かく迎えてくれた。1月27日、母校大隈ガールズハウスで開催された09年総長招待昼食会(写真)でのひとコマ。

2009年度「稲光会の日」開催



北原会長

恒例の「稲光会の日」が10月11日道場にて開催。例年よりも地方の会員が多く参加。九州から堀越明夫(S40年)、田中秀行(H9年)、長野から丸山公一(S40年)、新潟から富山泰男(S57年)の諸会員が駆けつけてくれた。会

員24名を含めて計53名の参加であった。現役のスピードにあふれた白熱した戦い、ワセダクラブ生徒の進境著しい剣さばき等に感心させられた。また堀越会員(S28年)から4年生へ心温まる卒業記念品(手作り陶芸品)がプレゼントされた。北原会長の楽しい司会のオークションは今年も予想以上の18万円の売り上げ。酒井会員(S35年)をはじめ沢山お買い上げをいただいた会員

いつもの品物を送っていただいている石黒幸治(S33年)、平野正宏(S41年)、北原勝彦(S41年)、北嶋栄(S46年)、森居章(S47年)会員、毎年家で楽しみにしている「佃煮」を作っていた金誠顧問(S25年)誠に有難うございました。今回の会費はやり繰りして例年の5000円から4000円に下げた。来年は更にコストダウンを図るのでより多くの先輩の参加をお願いします。

インカレ男子初優勝

超えられない厚い壁をついに破った！インカレ男子フルーレ団体。常勝軍団法大に勝つての価値ある初優勝。女子は関カレでフルーレ、エベの2種目に優勝するなど、稔り多い秋の陣だった。(関連記事2面)

現役
試合結果

寺本初の
インカレ2連覇F個人

来季リーグ戦に明るい材料を提供してくれた。

賞状がいっぱい。将に稔りの秋のインカレでした

男子優勝の勝敗のポイントには3番手松本徹(教育3年、早大学院)の出来しだいというのが今季の男子フルーレだった。が、インカレではその松本が大活躍。3試合の結果7点、6点、7点と最多得点を稼いで大澤三洋(スポ科4年、青山学院)、北川宗一郎(スポ科3年、埼玉栄)にバトンタッチ。さわどい一本勝負を何度も生き返らせた。全9試合のうち8試合を終わった時点で37-37の同スコア。王者法大にしぶとく食い下がった早大は最終9試合目で主将大澤が決めた。相手は小学生から東京Fスクールで仲間だった目黒友薫(4年)。捨て身の大澤に対し目黒には焦りが出た。その微妙な差がピスト上で明暗を分け、大澤が劇的な45点目を挙げたのだ。



2連覇の寺本朋代

JOC大会

早稲田勢でワンツーフィニッシュだ。JOCジュニアオリンピックの大会女子エベ決勝で太田紗佑里(米沢興譲館、政経1年)と田村須美礼(沼田女子、スポ科1年)が対決。

太田が優勝した。また同フルーレでは佐々木優(北豊島、スポ科



佐々木 優



監督両手に花ですなえ... (左が優勝した太田、右が田村)

1年)が3位入賞した。この3人はジュニア日本代表選手として4月、アゼルバイジャン・バクー市で開催される世界ジュニア選手権に出場する。

「現役に負けてなるものか」とばかり若い先輩も頑張っています。昨年12月の全日本選手権(千葉県松戸市)の男子エベ個人で前田雄亮会員(H21年)が2

頑張るOB・OG

位、森友記会員(H19年)3位と、優勝にあと一步の活躍でした。なお森会員は11月のアジア選手権大会でも同種目に3位を果たしています。



前田会員



森会員

WASEDA CLUB
こんにちは!
ワセダクラブです

サーブル優勝の松山大助君

子供たちは、エースの松山兄弟を中心に相変わらず快調です。09年の活躍ぶりをご報告します。

- 第27回若葉杯(2月千葉県船橋市)
 - 小学生1~3年男子の部 8位 今井勇樹
 - 小学生4~6年男子の部 7位 石川輝
 - 小学生4~6年女子の部 2位 今井良美
 - 小学生5位 浅野早紀
- 第26回ふなばしカップ(4月船橋市)
 - ジュニア男子の部 優勝 松山大助
 - 2位 松山恭助
 - 小学生男子の部 5位 M.プレストン
 - 7位 今井良美
 - 8位 浅野早紀
- 第10回東日本少年大会(5月東京)
 - 中学生男子フルーレ 優勝 松山恭助
 - 中学生男子サーブル 優勝 松山大助
 - 3位 松山恭助
- 2009年都カデ選手権大会(5月東京)
 - 男子フルーレ 3位 松山大助
 - 8位 松山恭助
 - 6位 松山大助
- 第1回サーブルチャレンジカップ(7月東京)
 - 男子ミニムの部 優勝 松山恭助
 - 女子ミニムの部 優勝 今井良美
- 第22回全国少年大会(7月京都市)
 - 中学生男子の部 2位 松山恭助
 - 小学生1~2年男女の部 2位 今井勇樹
- 第10回全国少年団体戦大会(10月東京)
 - 中学生男子フルーレ 優勝 ワセダクラブ
 - 中学生男子サーブル 優勝 ワセダクラブ
- 第13回全国カデ選手権大会(11月茨城県水戸市)
 - 男子の部 5位 松山大助
 - 6位 松山恭助
- 第33回八王子大会(12月東京八王子市)
 - 一般男子の部 2位 松山恭助
 - 小学校低学年(男女) 3位 今井勇樹